

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		災害時要援護者対策の推進				所管	健康部 保健予防課		
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	81	計画事業名	災害時要援護者対策の推進			
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					事業の開始・終了年度		
		[小 柱] (4)危機管理と安全・安心の充実強化					[事業開始]	平成 2 4 年度	
		[施 策] ② 災害への総合的対応力の向上[33]					[終了予定]	- 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区在宅人工呼吸器使用者災害時支援事業実施要綱				
	事業対象	区内に住所を有し、在宅にて人工呼吸器を使用している者							
	事業目的	災害時要援護者の中でも特に支援の緊急性が高い在宅人工呼吸器使用者について、避難支援を含めた災害時個別支援計画を作成し、災害への備え及び災害発生時の適切な対応を可能とする。							
	事業内容	① 在宅人工呼吸器使用者の把握 ② 在宅人工呼吸器使用者名簿の作成 ③ 災害時個別支援計画の作成 ④ 災害時個別支援計画及び区内防災情報の共有 ⑤ 災害時個別支援計画の更新							
委託の有無	一部委託		委託内容	災害時個別支援計画の作成					
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	新規計画作成者数		人	5	—	13	0	
		計画更新者数		人	15	—	—	10	
	成果指標	計画作成者数(累計)		人	20	—	13	13	
		決算額 (単位：千円)				—	226	31	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)			—	3,332	3,579		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)			—	227	32		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)			—	0	0		
		総経費			0	3,559	3,611		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)			—	0	0		
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)			—	226	31				
一般財源 (区負担額)			—	3,333	3,580				
前年度から改善した事項	区内医師会と連携を図り、在宅人工呼吸器使用者の把握に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	災害時要援護者の中でも特に支援の緊急性が高い在宅人工呼吸器使用者について、引き続き災害時支援を行う必要がある。						
	効率性	3	在宅人工呼吸器使用者と普段から関わりのある訪問看護ステーション等へ委託している。						
	手段の適切性	4	在宅人工呼吸器使用者本人や家族及び支援に関わる方の負担等を考慮し、普段から関わりのある訪問看護ステーション等へ委託し計画を作成している。						
	目的達成度	3	計画の更新については滞りなく行えた。新規に計画作成が必要な方はいなかった。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		
災害時要援護者対策の一つとして、支援の緊急性が高い在宅人工呼吸器使用者についての支援は、今後も引き続き取り組む必要がある。						維持			